

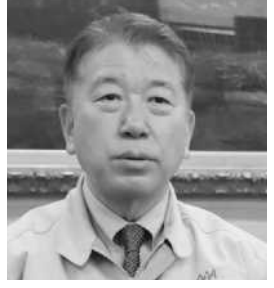
# 攻めの自動化・多角化 成長を加速 業界展望

## 相沢鉄工所

「業界の景況感は、日本鍛冶機械工業会の予測では2026年の受注額は3460億円と微増を見込む。データセンター建設や半導体市場の回復が追い風となり、自動化ニーズも多い。一方で国際情勢などのリスクは引き続き備える必要がある」

— 重吉六野野は。

「昨年のMFTOR YOで発表した汎用シャワーの新型機『ADVシリーズ』の出荷を4月から開始し、普及元年と位置づけて市場浸透を図る。ロボットを活用した自動



社長 相沢邦充氏

### 汎用シャワー新型機「ADVシリーズ」出荷開始

「『RaaS』というオンラインでも浸透しつつあり、新製品より安価でメーカー保証がある点や、即納可能という点が評価されている。再生済み在庫機を専用ウェブサイトに掲載している効果から、引き合い・受注も大きく伸びている。一方、AI(人工知能)を活用した自動検査装置開発のGo-Tech事業は、3月で最終年度を終え、今後は商品化に向けた取り組みを継続していく」

製造業を取り巻く環境は、原材料やエネルギー価格の高騰に加え、深刻な人手不足や建設現場の工事遅延といった複合的な課題に直面し、依然として予断を許さない状況が続いている。一方で半導体製造装置向けの需要回復やデータセンター建設の加速、世界的な省電力化投資の拡大といった新たな好機も確実に芽吹いている。各社は最新鋭の複合加工機や協働ロボットを積極的に導入し、生産工程の無人化や24時間稼働の実現を強力に推進している。生成AIの活用による熟練技能の可視化といったデジタル化の進展や海外人材を採用する動きも加速しており、柔軟かつ攻めの経営姿勢が鮮明となっている。さらに航空宇宙や防衛といった成長分野への新規参入、サステナブルな事業展開、戦略的提携による生産ノウハウの共有など、持続可能な成長を見据えた多角化戦略も活発だ。独自の技術力と創意工夫によって次なる成長ステージを目指す5社のトップに、現在の景況感や将来展望を語ってもらった。

## 小原歯車工業

「足元の景況感は、売上高は前年比98%と微減に止まっているが、原材料高騰による価格改定の影響が大きい。実際の仕事は減少傾向で現場の危機感も強い。数量減を単価上昇で補う状況が続いている。方子高齢化に伴うロボット投資をはじめとする省力化設備への需要は底堅い。当社が供給する歯車もこの自動化の波をいかに捉えられるかが重要だ」

— 省力化投資を続けています。

「このほどフアナック製ワイヤ放電加工機『ROBOCUT αC4』をOICと協働ロボット『CRX10iA』を組み合わせた自動化ラインを導入した。加工前の部品を専用治具にセットし、ロボットがそれら部品をワイヤ放電加工機に供給し、キー溝などの精密加工を自動で行う。最大200個の部品をまとめてセットでき、連続稼働を可能とした。今後の投資計画は、約6000万円を投じ、マザック製の複合加工機『INTEREX J-200NEO』と協働ロボットを組み合わせたシステムを年内に新規導入する。ロボットが加工前の歯車を加工機内へ正確に搬送し、加工機には回転軸の中心を正確に合わせる高精度のタッチセンサーを搭載し、芯出し(軸の中心把握)を自動化する。歯車設置や芯出しなどの段取り作業を無人化し、24時間稼働を実現する」



社長 小原敏治氏

### 放電加工機・協働ロボの自動化ライン導入

「建設・土木は人手不足や資材高で工事遅延が深刻となっている。受注物件の白紙化もあり、厳しい局面が続く。自社の人手不足は自動化投資で対応済みだが、顧客側の工事遅延が影を落している」

— 成長をけん引する分野は。

「2024年末から素形材事業の半導体製造装置向け部品需要が伸び、現在も高い操業水準を維持している。子会社の特許メタル(福島県相馬市)を中心に、設備更

## 川金ホールディングス

「今年度の景況感は、自動車業界向けは更新型の需要はあるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の導入ペースが加速し、EV向け部品(エンジン用金型)の増加が期待できる」

— その他の分野は。

「半導体製造装置向けについては26年は伸びると予測する。航空機エンジン金型も着実に伸長している。新規のロボット用金型も昨年から生産が始まった」

— 二本松工場(福島県二本松市)を昨年に拡張して大型の5軸制御マシン



社長 鈴木信吉氏

### 半導体向け好調、新中計で売上高500億円目指す

「一次期中計最終年度の売上高で、現状比約25%増の500億円を目指す。防衛や船舶、航空宇宙といった新分野への参入を目指す。土木建築では免震・制振装置のラインアップを拡充していく。モノ売りからメンテナンスを含むエンジニアリング事業への深化を加速させる」

## フジムラ製作所

「金と切削を融合させた一貫生産体制を強みに、来期にかけてさらなる攻勢をかける」

— 本社の強みは。

「お客の多い本社に拠点を設けることで、当社の品質と技術レベルを即座に体感してもらうのが狙いだ。業界では珍しく価格を明示した展示を行い、設計や資材担当者が具体的なコスト感を持つて検討できる環境を整える。商談のスピードを速め、新規顧客の獲得を力強くけん引していく」

— 今後の投資計画は。

「自動化投資を加速させる。ロボット溶接の高度化や無人搬送車(AGV)の導入で生産効率を向上したい。またSPE採用の強化や生成AI(人工知能)の導入も進める。デジタルツールを活用して熟練技能の動画化や共有を行い、若手への技術継承を効率化する」



社長 藤村智広氏

### 切削加工事業に参入、板金と一貫体制

「今年度の景況感は、自動車業界向けは更新型の需要はあるが新規はまだ少ない。ただ、世界的なEV(電気自動車)の導入ペースが加速し、EV向け部品(エンジン用金型)の増加が期待できる」

— その他の分野は。

「半導体製造装置向けについては26年は伸びると予測する。航空機エンジン金型も着実に伸長している。新規のロボット用金型も昨年から生産が始まった」

— 二本松工場(福島県二本松市)を昨年に拡張して大型の5軸制御マシン

## 田口型範

「挑戦を続け、成長を必要と開拓して成長を継続していく。木型や金型製作というモノづくりから見えることも大切に、試作物まで幅広く対応できる当社の特徴を全国にアピールしていきたい」



社長 田口脩一郎氏

### 金型切削用の高効率MCも今後導入

「挑戦を続け、成長を必要と開拓して成長を継続していく。木型や金型製作というモノづくりから見えることも大切に、試作物まで幅広く対応できる当社の特徴を全国にアピールしていきたい」

**川金ホールディングス**

新たな価値の創造を Tomorrow's Technology, Today.

川金ホールディングスグループは、素形材・免振震・産業機械の高度な技術とグループの総合力をもって、高品質の製品とサービスを提供し、安全で安心できる快適な生活・社会基盤作りに貢献していきます。

www.kawakinhd.co.jp

**精密無比**

相澤鉄工所 シャワー&シャワーリングシステム

**ADV-612** 実演動画公開中

- 一体梁の板押さえビーム方式
- 板押さえパットを角型採用し、狭い幅の材料もネジリを抑えて切断
- 刃先から板押さえパット先端迄は5mmで歩留まり向上

株式会社相澤鉄工所 〒334-0074 埼玉県川口市江戸1-16-10 TEL 048-281-3740

www.aaa-aizawa.co.jp/ E-mail kawaguchi@aaa-aizawa.co.jp

**FALCON**

一般鋼材・ステンレス・特殊鋼・非鉄金属・継手類  
レーザー(2D・3D)・曲げ・孔あけ・溶接・その他

**株式会社FALCON**

代表取締役社長 佐藤 義晴

〒334-0074 埼玉県川口市江戸1-16-15  
TEL 048-285-5541 FAX 048-285-5542  
URL : https://www.falcon-mp.co.jp

図面さえあれば 素早く製品化

産業用機械製造  
食品加工機械製造  
省力化機械設計製作  
MC・NC機等による機械加工  
各種機械の加工~組立

**沼口機械工業株式会社**

〒332-0032 川口市青木2-6-1  
TEL (048) 251-5784(代) FAX (048) 251-5726

5軸加工の **田口型範**

27台もの5軸マシニングセンタを駆使した機械加工で、単品ものから量産まで!

φ1000までのワークに対応 75年以上培った技術力

【事業内容】 鍛造用木型 鍛造用金型 インベラ 試作鋳物 機械加工品

本社・川口工場 〒332-0032 埼玉県川口市青木2-20-15 ☎ 048-251-2765

福島二本松工場 〒964-0981 福島県二本松市平石高田4-123 ☎ 0243-23-2517

経済産業省関東経済産業局委託事業

経営のボタンタッチのお悩みは **埼玉県事業承継・引継ぎ支援センター** にご相談ください

**相談無料! 秘密厳守!**

事業の存続に関する様々な課題の解決を支援する公的相談窓口として、専門家が秘密厳守で相談対応・アドバイスをいたします。

埼玉県事業承継・引継ぎ支援センター

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-17-15 (さいたま商工会議所会館4階)  
TEL : 048-711-6326 FAX : 048-711-6378  
hikitsugisaitama@vesta.ocn.ne.jp